

あきたスギッチファンド
秋田県「寄り添う市民活動」緊急サポート事業応募用紙
 (2020年7月)

1 団体について			情報公開 の有無
ふりがな			公開
団体名			
代表者役職・氏名	印		公開
団体所在地	(〒 —)		市町村 名公開
連絡先	ふりがな	電話・FAX	どちらか を公開
	担当者氏名		
	住所 E-mail:		
ホームページ	URL:		公開
設立年月日	年 月 日		公開
会員数	会員 名 (内役員 名)		公開
団体設立の目的			公開
現在の活動状況			公開
今までの活動経過・実績			公開
組織および体制			公開
過去の助成について	過去にスギッチファンドの助成を受けたことがあるか。 ない 1～3回ある 4回以上ある	過去に類縁団体でスギッチファンドの助成を受けたことがあるか。 ある ない	参考
前年度決算額	総収入額	総支出額	公開

2 応募する事業について（希望コースに○をしてください。併願することはできません）

応募コース	上限20万円コース（ ） 上限30万円コース（ ）
応募事業名	
事業実施日及び期間	事業実施期間 令和〇〇年〇月〇日から令和〇〇年〇月〇日まで (主な事業実施日)
団体の目指す目的 (どのような課題に、 どう取り組むか)	
事業の背景および目標 ・コロナ禍でどういう 影響があったか。 ・事業でどう課題を解 決するか。	
事業内容 (事業実施内容、事業日 程、参加見込み等を 具体的に)	
事業実施の体制	
事業の成果 (事業の実施でどうい う効果が見込まれるか)	
事業の継続性 (この事業の成果を今 後にどう繋げていくか)	

応募する事業の予算書

収 入	金 額	内 訳

支 出	金 額	内 訳
計		

※収入合計＝支出合計となるように作成する。助成金額は助成見込み額として収入欄に記入する。

※備品購入費については、原則として助成申請額の二分の一を限度とする。

今回はおおむね一万円以上のものを備品とする。

※食糧費については、原則として助成申請額の三分の一を限度とする。

※人件費については、原則として助成申請額の六分の一を限度とする。